

## 2. 公民館のこま・日和のこま ふりがえり

### 12月1日 餅つき体験会とクリスマス会

日和地区社会福祉協議会や自治会と連携し餅つき体験会とクリスマス会を開催、日和の子どもを中心に臼での餅つき体験や交流会を行いました。日和地区社会福祉協議会では子どもと作ったお餅と食料品などを日和の独居高齢者の方へ配布する取り組みを続けられています。



▲餅つき体験

### 1月1日 新年互礼会

日和のみなさんの活躍を祈願して互礼会を開催しました。新年のあいさつや乾杯、万歳三唱を行いました。

### 1月11日 とんど焼き

3自治会の合同でとんど焼きを開催しました。お焚き上げやお餅のふるまいがあり、日和のみなさんの無病息災を祈願しました。



▲とんど焼き

### 邑南町老人クラブ連合会 会長表彰

町社協の広報誌おおなん社協にて掲載がありましたが、邑南町老人クラブ連合会会長表彰 [優良単位老人クラブ] にて『日和ときわ会』が受賞されました。おめでとうございます！

## これから

### 2月13日（金）公民館長杯 ペタンク大会、

### 2月22日（日）公民館長杯 ゲートボール大会を開催します

健康増進と交流の場を目的として2つの公民館長杯を日和公民館の体育館（屋内）にて開催します。

ひとつは第22回目となる日和公民館長杯 ペタンク大会、もうひとつは第37回目となる日和公民館長 ゲートボール大会です。ともに健康増進と交流を目的にしておりますので、どなたでもぜひご参加ください。

申し込みは、本公民館だよりにてペタンク大会は黄色の紙、ゲートボール大会は赤い紙でご案内・申込書をはさみますのでご確認ください。

### 2月24日（火）オレンジカフェいわみが開催されます

石見さくら会によるオレンジカフェいわみが日和公民館研修室、9：30-11：30にて予定されています。どなたでもお気軽にご参加ください。

### 3月22日（日）公民館まつりを開催します

普段から公民館を利用いただき活動されている団体等の発表の場、そして、交流の場として今年も公民館まつりを開催します。いま開催内容の検討を進めております。お楽しみにお待ちしております。

日和地区人口（前年同月比） / 男164人（-5） 女160人（-9） 計324人（-14）  
※令和7年12月末現在 / 世帯数146世帯（-7） 邑南町9,305人（-162）

※先月号（12月号）にて、世帯数を137と表記しましたが、正しくは145でした。申し訳ありません。  
令和7年11月末現在：世帯数145世帯（前年同月比-8）



本年もよろしくおねがいします

令和8年1月21日 第266号 文責：湯浅

日和公民館だより

1月号

### 0. 題字のこま

今号の題字とイラストは、金川元晴さん、芽惟さん、直晴さんが書いてくれました。虹のある晴れの日、雪が舞う冬の日、どちらもハッピーな雰囲気です。新年にぴったりだと思って全部使わせてもらいました。じいじとばあばも書いとられます！

お話も聞いてます。

① 日和公民館の行事で楽しかったこと、教えてください

- 騒祭 (!) (元晴) - クリスマス会 (芽惟)
- 夏休みのキャンプ (直晴)

② いまがんばっていること、教えてください

- バスケ (点を決めたい!) (元晴) - お勉強 (とくに算数) (芽惟)
- ごはんのお手伝い (直晴)

にぎやかで、カラフルな雰囲気のある3兄妹！楽しそう！バスケと算数とごはんって、ほんとに大切ですね。

# 1. 日和のごと

公民館の研修室に入って左側、壁一面に“大きな大きな貼り絵”が展示されています。制作は「ひよりの会」のスタッフのみなさん。日和の多くのひとが知っているこの大作についていつかお話を聞いてみたいと思いました。

## みんなでつくる、楽しくつくる

新年を迎えてから約半月が経った頃、「ひよりの会」のスタッフのみなさんが新しい“大きな大きな貼り絵”の作品づくりを始められました。スタッフでも寄って何かできたらいいよね、と貼り絵づくりを始められてから、これで4作目になるそうです。



お邪魔してみると、話合いながら進められてました

いま公民館研修室の壁一面にある貼り絵が3作目。大きさは横4.1m×縦1.9mにもなり、去年の1月から2月にかけての期間で制作されました。3、4日に一度のペースでスタッフの寄れる人で寄り、みんなでアイデアを出し合います。“大きな大きな貼り絵”づくりでは「みんなでつくること、楽しくつくること」を大切にされていて、たくさん話をしながら楽しく作業を進められるそうです。3作目のタイトルってありますか？という質問には『秋の取り入れ』かしら、とお話いただきました。



“大きな大きな貼り絵”の3作目 『秋の取り入れ』

## いきいきとした日和の風景

描かれたのは昭和30年ころの、日和の秋の風景。左のほうでは7段のハデゴに稲を干していて、その足元では子どもがカゴに入って子守りされています。右のほうにいけば大きな広葉樹の下、ネコも待ち遠しい“たばこをする”（おやつのことを言うんですね）準備がされていて、昼下がり3時ころのシーンということがわかります。この『秋の取り入れ』は、実は昭和の風景だけではないそうです。右の広葉樹の下に蝶々が飛んでいますがこれは“アサギマダラ”で、『秋の取り入れ』の制作中に日和の板金屋さんのところにある見事なフジバカマの花にアサギマダラがたくさん来ている、という話からそのニュースを盛り込んでみようとなったそうです。このような、



ハデ干しの細かい表現



アサギマダラ

ひよりの会スタッフのみなさんらしい、いきいきとした日和の日常が色鮮やかに表現されています。



こっそり見た、4作目の原画



“表情”から作られてました

## これからも。

さて、いま、4作目が制作されています。タイトルも内容もあえて聞いてませんが、作業中の研修室から聞こえる大きな話声からみんなで寄る場を大切に、そして楽しんでられることがわかります。みなさんに作品についてお話を聞きしている中で、これからも続けていかれますね、と言うと、歳がどうだこうだと言われますがそんなことは全然。パワフルで、色鮮やかで、何より楽しんでつくられる作品が生み出されていくことでしょう。いちファンとして楽しみにしています。